

**製品名: HuR / ELAVL1 (6W9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12286**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ELAVL1
別名	HUR; Hua; MelG; ELAV1;
遺伝子 ID	1994.0
SwissProt ID	Q15717
免疫原	ヒト HuR/ELAVL1 の合成ペプチド

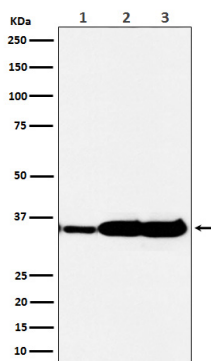
**背景**

3'-UTR ARE を介した MYC の安定化に関与する。FOS および IL3/インターロイキン-3 mRNA 中の AU リッチエレメントに強く結合する。FOS AU リッチエレメントの場合、HUR は AUUUUA、AUUUUA、AUUUUUUA モチーフを含む 27 ヌクレオチドのコアエレメントに結合する。mRNA の 3'-UTR 領域に結合し、その安定性を高める RNA 結合タンパク質 (PubMed:14517288、PubMed:18285462、PubMed:31358969)。胚性幹細胞 (ESC) の分化に関与：N6-メチルアデノシン (m6A) によってメチル化されていない mRNA に優先的に結合し、安定化させることで ESC の分化を促進する (類似性による)。標的 mRNA の 3'-UTR にあるポリ U エレメントおよび AU リッチエレメント (ARE) に結合します (PubMed:8626503、PubMed:17632515、PubMed:18285462、PubMed:23519412、PubMed:14731398)。FOS および IL3/インターロイキン-3 mRNA の AU リッチエレメントに強く結合します。FOS AU リッチエレメントの場合、AUUUUA、AUUUUA、および AUUUUUUA モチーフを含む 27 ヌクレオチドのコアエレメントに結合します。in vitro では 5'-UUUU[AG]UUU-3'モチーフに優先的に結合します (PubMed:8626503)。ZNF385A とともに p53/TP53 mRNA の 3'-UTR に結合し、CDKN2A によって誘導される核外輸送を制御します。したがって、p53/TP53 の発現を制御し、CDKN2A の抗増殖活性を部分的に媒介する可能性があります。また、ZNF385A とともに CCNB1 mRNA にも結合する可能性があります (類似性による)。3'-UTR に AU リッチエレメント (ARE) を持つレプチン mRNA の安定性を高めます (PubMed:29180010)。

## 研究分野

-

## 画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) マウス心臓溶解物、(3) ラット脾臓溶解物における HuR / ELAVL1 発現のウエスタンブロット解析。